

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社、九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年7月30日（木）13：30～16：15

3. 場所：原子力規制庁 16階 A会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田室長、米林主任検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、濱口技術研究調査官、小城技術研究調査官、出井技術研究調査官、園田技術研究調査官、川口技術研究調査官、藤本技術参与

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他2名

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他2名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他4名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 課長

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他7名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他2名

5. 要旨

(1) 本年6月25日の面談に引き続き、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）及び九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）は、大飯発電所3/4

号機及び玄海発電所3／4号機のレベル1確率論的リスク評価（以下、「PRA」という。）モデルに関する質問事項について、配布資料（1）に基づき質問事項の確認をおこなった。今後、関西電力及び九州電力の回答において詳細な説明が必要なものについては、原子力規制庁は継続して面談で確認していくこととした。

- （2）本年7月7日の面談に引き続き、原子力規制庁は大飯発電所3／4号機及び玄海発電所3／4号機のレベル1.5 PRAモデルの質問事項について、配布資料（2）及び（3）に基づき説明した。今後、関西電力及び九州電力の回答において詳細な説明が必要なものについては、原子力規制庁は継続して面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

- （1）事業者PRAモデル（大飯3／4号機）の適切性の確認のための質問事項への回答（レベル1 PRA）（関西電力資料）
- （2）事業者レベル1.5 PRAモデル（大飯3, 4号）の適切性の確認のための質問事項（その1）（原子力規制庁資料）
- （3）事業者レベル1.5 PRAモデル（玄海3, 4号）の適切性の確認のための質問事項（その1）（原子力規制庁資料）